

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述・論述・描図・選択・マーク

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

設問の多くは空所補充で、一部に問形式を含む。受験生にとって目新しい問題を、誘導に従って解いていかなければならない。

その他トピックス

物理問題Ⅲ (2) は、2025 年度第 2 回京大入試オープン物理問題Ⅲ (2) がズバリの中。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	空所補充 ・問形式 (記述・ 論述・選 択)	力学 (円運動)	物理	ばねまたはひもにつながれた小球の円運動についての問題。(2), (3) では重心から見た 2 つの小球が円運動することに気を付けて解いていけばよい。	標準
II	空所補充 ・問形式 (記述・ 選択・論 述)	電磁気 (ソレノイドの 自己誘導)	物理	ソレノイドの自己誘導現象から、ソレノイドに流れる電流が作り出す圧力を導出する問題。受験生にとって見慣れないテーマであり、上手く誘導に乗っていかなければならない。	やや難
III	空所補充 ・問形式 (記述・ 選択・論 述)	熱 (気体の状態変 化)	物理	(1) 断熱変化で成立するポアソンの式を導出し、等温変化と比較する問題。 (2) エネルギー密度が温度で決まる気体の変化を問う問題。問題文の誘導に従って確実に計算を進めていかなければならない。	やや難

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

1. 基本事項を正確に把握する。
2. 題意を正しく把握するための読解力を養う。
3. 図を用いて状況設定を正しく把握する習慣を身につける。
4. 正確で迅速な計算力を養う。